



具象？

解剖学？

今どき！？

前芝武史 アタリサオリ
アカデミック造形研究プロジェクト 第1弾

二人の美術解剖学展

入場
無料

8/12 ~ 8/16

9:00 ~ 19:30

Last day 15:00 close

8/14 (sun) Workshop

14:00 ~ 16:00

会場

後援



大阪市中央公会堂
2F-6.7.8室

〒530-0005
大阪市北区中之島1丁目1番27号

 国立大学法人兵庫教育大学



前芝 武史
Takeshi Maeshiba

筑波大学大学院修士課程芸術研究科（彫塑分野）修了、同大学院博士課程（芸術教育学分野）単位取得退学。アカデミック造形研究プロジェクトメンバー、（公社）日展会員、（公社）日彫展運営委員、白日会会員（関西支部副支部長）、美術解剖学会会員、美術科教育学会会員、大学美術教育学会 総務局理事、国立大学法人 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教授（博士課程マル合取得）。

前職・筑波大学附属養護学校教諭時代に、手が不自由な高校生も本格的な造形が学べるよう配慮した団子（塊）の組み立てで考える具象彫刻や自然形態の素描を教材化。

この取り組みが美術科教育学会で大きく評価され、'06 美術科教育学会『美術教育学』賞奨励賞（年度最高賞）受賞、以後の研究の軸となり、制作や造形論、教育論や美術解剖学に広がり、Maeshiba Method of Modeling Mass として知られるに至る。

【学会誌掲載論文、著書】大学美術教育学会 8 編、美術科教育学会 1 編。著書には「美術と教育」（『教科教育研究の可能性を求めて』風間書房）がある。

岡山大学教育学部特別教科教員養成課程美術専攻卒。

現在、アカデミック造形研究プロジェクトメンバー、美術解剖学会会員、日本認知科学会会員、日本視覚学会会員。大学にて 福島隆壽教官（光風会）川上一巳教官（一水会）小川尊一教官（創元会）からデッサンと油絵、特に人物画の基礎を、井上明彦氏（「画家は状態名詞であって、職業名詞ではない」と明快に答え、その後のアタリの方向を決定付けた芸術家）から芸術学と西洋美術史を学ぶと共に、美術科教育を専門とする赤木里香子教官（現岡山大学）のもとで「シュタイナー教育」をテーマとした卒論研究を行った。

2011 年、スタンドグラス制作中にすべての芸術の基礎はデッサンということに気づき、石膏デッサンの訓練を再開。その後アトリエ Rojue 大阪に参加し本格的に人体デッサンの訓練を再開する。

2014 年、美術解剖学モデルの海斗氏（アトリエ Rojue 総合プロデューサー、美術解剖学会所属）と出会い、人物画家として本格的に活動を開始する。

2017 年、海斗氏の多大な協力を得て初の個展「アダムスの肖像」（TOR ギャラリー@神戸元町）を開催。デッサンによる明暗法と美術解剖学による人体構造の写実表現をベースに、アタリサオリ独自の生命観表現を追求し続けている。



アタリ サオリ
Saori Otari

開催情報

8月12日～8月16日 9:30～19:30

（最終日は 15:00 まで）

入場無料

ワークショップスケジュール

8月14日（日） 14:00～16:00

8/14 14 時よりアタリ・前芝両名が彫塑と作画で美術解剖学にもどつた作品制作ワークショップを会場にて実施いたします。また 15 時より、座談会を開催いたします。是非、展示作品鑑賞と合わせて、こちらまで参加、ご鑑賞ください。

タイムテーブル

14:00	公開制作 絵画・彫塑・素描 theme「劇変の段階」
15:00	講演・座談会 theme「具象、解剖学、感性、教育」

感染対策のお願い

当日、会場内ではコロナウイルス感染症対策のためマスク着用へのご協力をお願い致します。会場でのマスク販売はございませんので、予めご持参くださいませ。

アクセス

会場情報



大阪市中央公会堂 <https://osaka-chuokokaido.jp/>
〒530-0005 大阪市北区中之島1丁目1番27号
TEL：06-6208-2002

電車でのアクセス

- Ⓜ 大阪メトロ 御堂筋線 淀屋橋駅より徒歩 5 分
 - Ⓚ 大阪メトロ 堺筋線 北浜駅より徒歩 10 分
 - 京阪電車 本線 淀屋橋駅より徒歩 5 分
 - 京阪電車 中之島線 なにわ橋駅より徒歩 1 分
- ※なるべく公共交通機関でのご来場をお願い致します。